

東京農業大学

湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄
事務局 〒238-0032 横須賀市平作 4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

<第21回湘南稲桜会総会開催>

平成29年5月14日(日)午後2時よりホテルハーバー横須賀にて来賓4名、会員21名が出席して、第21回神奈川県支部湘南稲桜会定期総会が開催された。

清水副会長の司会により、廣濱事務局次長の開会のことば、松居会長のあいさつ、来賓の紹介の後議案審議に入った。

平成28年度事業報告・収支決算報告、平成29年度事業計画・収支予算案について審議し異議なく原案通り承認された。

次に来賓を代表して校友会神奈川県支部の加藤支部長より挨拶と大学の近況などについてお話をいただいた。

第2部の記念講演は、東京農業大学農学部農学科の野口有理紗助教にお越しいただき「おいしい野菜をそだてたい」と題して講演をいただきました。日ごろの研究内容や、野菜育成現場での最新情報、宇宙でハーブを育てる夢など大変興味のある講演でし

た。講演後野菜の育て方等について多くの質問がありましたが、丁寧にご指導くださり有意義な講演でした。

記念講演終了後一同で記念撮影を行い、関副会長の司会により第3部の懇親会に移り、梅澤顧問の発声による乾杯の後、来賓を囲んで和やかに懇談し、来賓の祝辞、出席者全員の自己紹介と近況報告などがあり、途中自由民主党の農林部会長の小泉進次郎国会議員がお越しく下さりスピーチもいただくというビッグサプライズもあり大いに盛り上がった総会となりました。恒例の学歌を斉唱の後、午後6時散会となりました。今回参加できなかった会員の皆様も来年の総会には、ぜひご出席下さるようお待ちしております。

(事務局)



— 会員の活動紹介 —
 < 趣味の家庭菜園 >

松居靖雄 (S43 院化修)

7月中旬、小清水副会長より「たより」の原稿を依頼されました。何を書こうか迷った末、趣味である家庭菜園の遍歴を紹介することにしました。家庭菜園は諸事情により何回か中断したこともあります。何とか続けて現在に至っております。第1期目は今から40年程前、借家の一角(約6.0㎡位)を畑にして夏野菜を栽培したのが始まりです。畑の面積が小さく、連作になってしまいます。連作障害を回避するためには、土壌改良材や友人から分けて頂いた椎茸の搾り粕(健康食品の製造過程で出る椎茸の搾り粕)等を畑全体に鋤き込んで、1年に1回だけを条件で、同じ場所に夏野菜を植えてみました。収量の変化や病変などは見受けられず、7年もの長い間連作を試みましたが、異常は認められませんでした。「作を肥やさず土を肥やせ」の格言通り大変有意義な経験でした。その間に10㎡位の貸農園も3年程借りてみましたが、使い勝手が悪く、何を作ったのかは記憶にありません。第2期目は転居先が畑にするような庭もないため、プランターを通路に並べてプランター栽培を試みました。当時、市販されているプランターは主に花壇用で、現在のように野菜専用のプランターなどが無い時代、プランターでいろいろな野菜が出来るように改造して、栽培を試みしました。野菜は予想通りの成果が出ましたが、これでは満足できず、常に貸農園を探しておりました。第3期目は8年程前、市民農園が抽選で当たり、いろいろな野菜を栽培してみましたが、余り良い成果は得られませんでした。そこで畑の土質を調べた結果、粘土質土壌で水捌けの悪いことが判明しました。そこでこの土壌を団粒構造にしたいと、市より提供される堆肥や土壌改良剤等を投入しましたが、余り良い成果は得られませんでした。その間



も貸農園を探していたところ、校友会でお世話になっております嶋村先輩に、貸農園をご紹介頂きすぐに契約しました。これが第4期目で4年前より現在に至っています。広さは1区画10坪強(35㎡)でしたが、1年間で左右の農地が空いたため、全部借受けて合計3区画+αで約40坪位となり現在に至っております。通年で栽培している野菜は①果菜類10種類、②葉菜類10種類、③根菜類5種類で、別表に掲載いたします。栽培計画は常に連作を避けながら、1年中何らかの野菜がとれ、毎日食卓に載るよう心掛けております。この話がお手元に届く頃には、賑やかであった夏野菜の収穫も終わり、雑草刈りをしながら秋植えの準備中です。

栽培している野菜の種類と食部位による分類						
分類	食用部位	野菜の種類				
果菜類	果実	イチゴ	インゲン	エンドウ	オクラ	キュウリ
		スイカ	ソラマメ	トマト	ナス	ピーマン
葉菜類	葉・茎・蕾	キャベツ	小松菜	春菊	セロリ	タマネギ
		ネギ類	白菜	ブロッコリー	ホウレンソウ	レタス
果菜類	根	カブ	サトイモ	ジャガイモ	ニンジン	ダイコン

美術展入賞

8月17日(木)～20日(日)横浜市民ギャラリーで第16回かながわシニア美術展が開催されました。湘南稲桜会の関副会長が日本画の部へ出展され、佳作かながわ福祉サービス振興会賞を受賞されました。「ネコノミクス」の表題で色とりどりの花の中



で黒猫が幸せそうに輝いています。関副会長は、永年日本画を描かれており、平成26年5月東京有楽町の交通会館にてお母様、お嬢様の親子三代の日本画親子展も開催しました。来年は美術大賞をと願いながら鑑賞させていただきます。(事務局長)



— 寄稿 —

＜日野原重明先生に学ぶ＞

磯谷ゆり子 (S48 栄養学科)

2017年7月18日、百歳を超えての現役医師だった日野原重明先生が亡くなりました。



日野原先生のことを考えると「平均寿命」とは何なんだろうかと考えさせられます。

先日2016年の平均寿命が発表されました。男性80.98歳、女性87.14歳。香港に次ぐ世界第2位の長寿国です。我が家の近所にもこの平均寿命を超える方々が住んでいます。一人暮らしの方も多く、多少体調は悪いながらも自立した生活を送っています。

日野原先生の素晴らしいところは、医師としての仕事をこなしながら音楽やダンスの活動に参加し、講演や執筆活動も数多く行っていたところだと思います。また、「成人病」に代わる「生活習慣病」と云う言葉の提言や終末医療の普及にも長い間尽力されていて、人間は休まず働き続けることが健康長寿につながると云う事をご自身で証明なさったのではないかと思います。睡眠時間は4時間で充分、集中力があれば眠くなることはありません、とおっしゃっていた先生の言葉が忘れられません。

私も毎日、生活習慣や食事に気を付けながら生活しています。しかし注意をしても病気にならない保証はありません。自分の体調はもちろん、将来の社会保障費用の増加や介護制度、介護離職の問題等社会的不安がたくさんあります。団塊の世代が後期高齢者になる2025年には、はたして高齢者にとって住みやすい社会になっているのでしょうか。

この先どのような社会になるのかわかりませんが、日野原先生がおっしゃっていた「今与えられた時間をどのように使うか」、「時間は人のために使いなさい」これらの意味をどのように理解し自分の中でどれだけ消化していけるのか、しっかり考えながら生活していきたいと思います。

日野原先生のご冥福をお祈りいたします。

＜農家の正月行事＞

湖水康史 (S62 農学科)



今回、三浦の農家のというか、我が家の正月行事を紹介したいと思います。地域性や家による違いはあると思いますが、三浦あたりは、だいたい似た感じだと思っていますが、どうでしょうか？

12月25日頃、神棚の掃除をして、えびすこ(えびす講)というのをやります。御神酒徳利に新しく口

を切ったお酒を少し入れて、神棚に。夕食に炊き込み御飯、尾頭付きの煮魚、味噌汁、漬物のお膳をえびす様に供えます。神様の仕事



(えびすこのお膳)

納めですね。休んでもらうという言い方をします。12月20日頃という家もあるけれど、我が家では、もう少し稼いでもらって、たいてい12月25日頃です。

12月28日、餅つき、以前は、もっと多かったので、最近は3臼だけつきます。3臼目は半分お供えを作ります。9カ所に供えるので、9すわり。でも、なぜか1個余るように作ります。

12月30日は、お飾り作りです。今は、稲作をやっている家が少なくて、自分で作る家は少なくなりましたが、近くの知り合いから、藁を貰って作っています。朝、藁の束を海岸に持って行って、塩水に漬けるところから始まります。表で吊るして干して、ある程度乾いたら、藁を編んで「さんまた」というお飾りを作ります。飾るのは、神棚3つえびす様2つ他は、かまど、床の間、物置、井戸で、合計9つ、これもなぜか1つ余るように作ります。仏壇と、さんまたを飾った前にお供えを置きます。ただ、井戸だけは使っていないので、さんただけ飾ります。神棚にはしめ縄と竹、松、榊を飾って、掛け魚を吊るします、キンメダイのはらわたを抜いて、塩をして、2匹下げます。魚はキンメで無くても良いと聞



(神棚のお飾り、右がえびす様)

いてますが、腹は割かない方がよいので、キンメだと口が大きくてはらわたが抜きやすいのだとか。ここまで作るともう夜になっています。

1月1日、朝、また新しくお酒の口を切って、御神酒を上げて、その後、雑煮を作ります。雑器という木の皿に雑煮の中の里芋と油揚げを乗せ、それをお盆の上に9つ乗せたら、その上でマッチをつけて、ぐるっと回して、それから、お供えの前に供えています。我が家の雑煮の中身は、里芋、油揚げ、な

ると巻、ほうれん草です。昼は御飯を炊いて、御飯と刺身にしょう油をかけて、同じように供えていきます。今は、マグロの刺身ですが、以前は、三が日の間、活着しているの



(床の間に朝の雑煮)

で、さざえだったとか。2日、3日も、朝の雑煮と昼の御飯を供えていきます。

4日朝、お飾りと餅を片付けます。半紙と箸だけはそのまま残します。

掛け魚は、少しでも早く、3日の深夜にはずして冷蔵庫に入れて仕舞います。うまく乾いていれば干物に。残念ながら臭っている年もあります。



(昼は刺身と御飯)

7日朝、七草粥、といっても、我が家のはほうれん草しか入っていません。これもまた雑器に入れて供えていきます。

11日朝、鏡もちを割って、焼いて、榊に入れて神棚に供えます。



(七草粥、餅も入れます)

15日朝、小豆粥。これも雑器に入れて供えます。これで、箸と半紙も片付けて、普段の家の中に戻ります。

1月20日 えびすこ。12月と同じくお膳を作って、これから稼ぎに出てもらうので、1月は朝に供えます。

これで正月行事が終わり。2月3日に節分の豆撒きをすれば、また年末まで何もないのですが、この時期だけはいろいろあります。たまに喪中でやらない年があると、楽だなと思ってしまいます。さて、いつごろまで続けられるかな。

<地区の活動>

今年の夏は、天候の変化が大きく、集中豪雨により大きな被害にあわれた地域がありました。三浦半島地区は幸いにも豪雨に合わず、夏も終わりに近づいてきました。恒例の暑気払いは、今年も返子の鈴木久彌会員 (S33 学農) のご厚意により5回目を開催することができました。返子・葉山地区以外の会員にも声をかけ8月27日(日)にバーベキューを行

いました。

天気予報では小雨とのことでしたが、開始時はすっかり良い天気となり心地よい風の中で実施することが出来ました。

今回は、鎌倉地区、横須賀地区の会員、家族も参加し14名となりました。鈴木久彌会員の娘さん鈴木由美会員 (H1 学造)、関副会長 (S50 学栄) の準備した手料理、参加者がそれぞれ持ち寄った葉山牛、美味しい日本酒など堪能しました。

学生時代を懐かしむ話で大いに盛り上がりあっという間に時間が過ぎてゆきました。



来年も行いたいと思いますので、是非お運びください。

総会や研修会とは一味変わった校友の集まりでした。(事務局)

参加の下嶋武志会計 (S45 学造) の一句
熱波去り 熱気あふるる バーベキュー
北風の 初秋涼しき 久野谷の里 (久野谷は久木の旧称)

<第71回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の農大生関係の活躍結果について>

下嶋武志 (S45 造園学科)

平成29年2月12日(日)秦野市カルチャーパークから相模湖公園までの7区間51.5kmの駅伝が開催された。県内30市町の代表選手が晴天微風のもと走った。総合優勝は2時間38分28秒の横浜市、以下相模原市、川崎市、横須賀市、小田原市、茅ヶ崎市までが入賞チームであった。町村の部では2時間49分7秒の愛川町が優勝、以下二宮町、箱根町、葉山町、大磯町、松田町の順で入賞した。農大関係者は、相模原市7区10km30分41秒、区間第4位の加藤大地選手(東京農大4年)と、葉山町6区10.7km



39分7秒、藤本星夜選手(東京情報大4年)の2名が活躍した。

弁解めくが藤本選手は早春の晴天下、上り坂の連続で脱水症状を呈した残念な結果であった。

彼は高校・大学と7年間貢献してくれた。葉山町は30年前から参加しているが、市民ランナー主体のチームで毎年最下位を免れなかった。小学高学年から陸上教室を開いていたが、あまり成果は見られなかった。そんな状況もこの10年退職教員が1名専属で指導にあたり陸上協会も毎週土曜日数名と一緒に指導するようにした。その結果小学生・中学生の速い選手が出て箱根駅伝4回経験者は今キャプテンとしてチームを引っ張っている。



その姿を見て皆意欲的になり、陸上教室参加者も当初10名程度だったが、現在数10名(春先のシーズン初めは百名前後)が通っている。

何事も取り組む姿勢が大事であると痛感している。また葉山町は町村の部で2回優勝し実績を残し他からも目標にされている。

競技に関しては、老兵はただ去りゆくのみ
後世おそるべし

<厚木キャンパス収穫祭へ 行きませんか？>

11月4日(土)・5日(日)開催の厚木キャンパス収穫祭へ行きませんか。

厚木キャンパス収穫祭では、昔懐かしい模擬店はもとより、教室内では日ごろの研究室等での成果を発表しています。

収穫祭期間中、学生のプレゼン力を向上させる。(自信をつけさせる)目的で、展示説明を行っている学生のプレゼン力を外部の方に審査していただき、学生の社会人としての基礎力養成のための企画が実施されています。

実施方法は、各研究室の展示を見学し、学生からの説明を受け、プレゼン力の優れた学生・団体を評価し、最終日に学内で発表し賞状を授与するもので、今年も、神奈川県支部として参加協力することです。

今回は11月4日(土)に行いますので、収穫祭を楽しみながら後輩たちの応援をしてみてもどうでしょうか。

当日は研究棟1階の教員室を午前10時から午後3

時までの間、校友会の休憩室として使えるとのこと
です。

プレゼン力の審査方法について、この場所で教えてください。(事務局)

<会員からのたより>

総会の出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。 敬称略 (事務局)

(横須賀地区)

- ・原島 純憲 (S26 学農)
元気・元気・空元気
- ・石橋 順作 (S34 学林)
腰痛のため病院へかよっています。
- ・江間 三恵子 (S39 学栄)
小泉進次郎さん来てくれるとよいですね。
- ・池田 厚 (S48 学造)
当日すでに予定が入っており出席できません。申し訳ありません。皆様に宜しくお伝え下さい。
- ・菊本 充 (S58 学経)
福岡での単身赴任生活、まだ続きそうです。総会の盛会を祈念しています。
- ・原田 義和 (H3 短農)
トマトの育苗、定植時期と重なり欠席します。新品種の導入や例年とは異なる定植時期なので、色々難しいですがボチボチやっています。
- ・齋藤 道生 (H13 学工農)
大島高校で農業の指導にあたり、今年で11年目になりました。すっかり島の人間です。

(鎌倉地区)

- ・磯谷 ゆり子 (S48 学栄)
いつもお世話様です。よろしく願い致します。
- ・大川 晶子 (S52 学化)
稲桜会だより楽しく読ませていただきました。日曜は孫を預かることになっているため残念ながら欠席させていただきます。ご盛会をお祈りいたします。

(逗子地区)

- ・鈴木 久彌 (S33 学農)
元気で働いています。5月14日は都合がつかず欠席します。
- ・関 恵梨子 (S50 学栄)
4月は、さまざまな総会がめじろ押し。司会、議長、顧問席、今年も楽しいことが沢山あること期待します。

(三浦地区)

- ・池田 尚久 (S40 学農)
毎度気ままで済みません。おいしい野菜、楽し

みにしています。

（H28年3月卒業生）

- ・野口 孝志（H28 産香）
社会人2年目となりました。変則勤務なので土日が休みとは限らないので出席できず残念です。
- ・長谷部 悠人（H28 国関）
青年海外協力隊として、ジャマイカに赴任中です。
- ・森 千晴（H28 農農）
仕事の都合で引っ越しいたしました。

＜会員増強のお願い＞

未加入校友に声かけ運動をすすめよう

毎年、会員の加入促進に取り組んでいますが新規加入者は微増にとどまっています。

「湘南稲桜会だより」への掲載、会員・役員の声かけ等、常時行っていますが実績は芳しくありません。このまま進むと高齢化がすすみ若年層が少なく組織的にも財政的にも危機的状況になりつつあります。将来的に稲桜会が維持・発展してゆくためには新規会員の加入促進が急務であります。ぜひとも、会員皆様の力が必要です。お知り合いの方に声かけし加入をすすめて下さい。（会員増強対策委員会）

＜会費納入のお願い＞

毎度のお願いになりますが、年会費 3,000 円を未納の方は同封の郵便払込取扱票にてよろしくお願いたします。

会の活動・運営に欠かせない会費であります。
(事務局)

＜編集後記＞

湘南稲桜会だより 38号をお届けします。会員相互の情報源としてご活用下さい。

8月9日農林水産省は16年度食料自給率（カロリーベース）は38%だったと公表した。この数字は「歴史的凶作」と云われた冷夏によるコメ不足となった93年の37%に次ぐ23年ぶりの低水準である。原因は北海道での台風の大雨被害による畑作物の不作が影響したと見られる。

食料自給率は国内で消費される食糧のうち国産で賄っている割合であるが、38%はいかにも低い。政府は15年に農業政策の柱となる「食料・農業・農村基本計画」で25年度に自給率45%に高める目標を掲げているが、達成はとて無理である。政府は「食料安全保障」の確保に全力で農政を進めてほしい。

(M. K)

＜平成29年度研修会のお知らせ＞

本年度の研修会スケジュールが下記の通り決まりました。

秋の三浦半島の自然をゆっくりと楽しんでいただく計画を企画しました。案内は、当会の廣濱事務局次長、中山監事が行ってくださいます。

ご家族・お友達お誘いの上、秋の一日をのんびりウオーキングを楽しんでください。ご案内申し上げます。

- 1 日時 平成29年11月12日（日）
午後1時～4時10分
- 2 行程
京急三崎口→神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所→小網代の森→京急三崎口（解散）散策時間は概ね1時間30分程度
解散後、希望者による懇親会を行います。
- 3 集合時間・場所
午後1時 京急三崎口駅
- 4 懇親会
午後4時30分ごろから三浦海岸駅から徒歩2分の居酒屋（淳平）
- 5 参加費
研修会参加費： 300円（傷害保険料等）
懇親会参加費： 4,000円
両方参加： 4,300円
- 6 申し込み
別途はがきにて10月31日（火）まで

